

平成20・21年度 教育課程研究指定校事業(幼小連携)

**幼稚園教育と小学校教育との接続に配慮した  
指導の内容や方法の工夫と改善**

平成22年2月3日(水)

香川大学教育学部附属幼稚園高松園舎  
附属高松小学校

# 第1章 研究の概要

## 1 研究の概要

## 本園と本校について

小学校

幼稚園



- ・小学校と幼稚園が同一敷地内にある
- ・入学児童の3分の1は高松園舎の出身
- ・幼小連携の研究…昭和57年研究開発校の指定から

# 1 研究の概要

## カリキュラムをつなぐ

### STEP1

小学校と幼稚園でお互いの授業・保育を参観して合同研修会を行う

### STEP2

互恵性を大切にした幼児と児童の交流活動を行う

### STEP3

カリキュラムという視点から年間計画を見直す



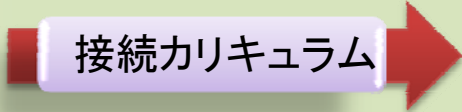


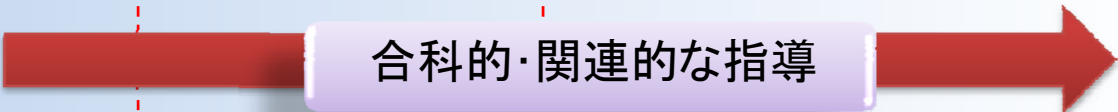
## 1 研究の概要

## 4つの時期とねらい

月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
期	第Ⅰ期		第Ⅱ期			第Ⅲ期				第Ⅳ期	
幼稚園	入学～ ゴールデン ウィーク前		夏休み前まで			冬休み前まで				卒園まで	
両方	生活に慣れ 友達関係をはやくつくる									小学校への入学を意識	
小学校			学習に慣れる			学校生活の充実					

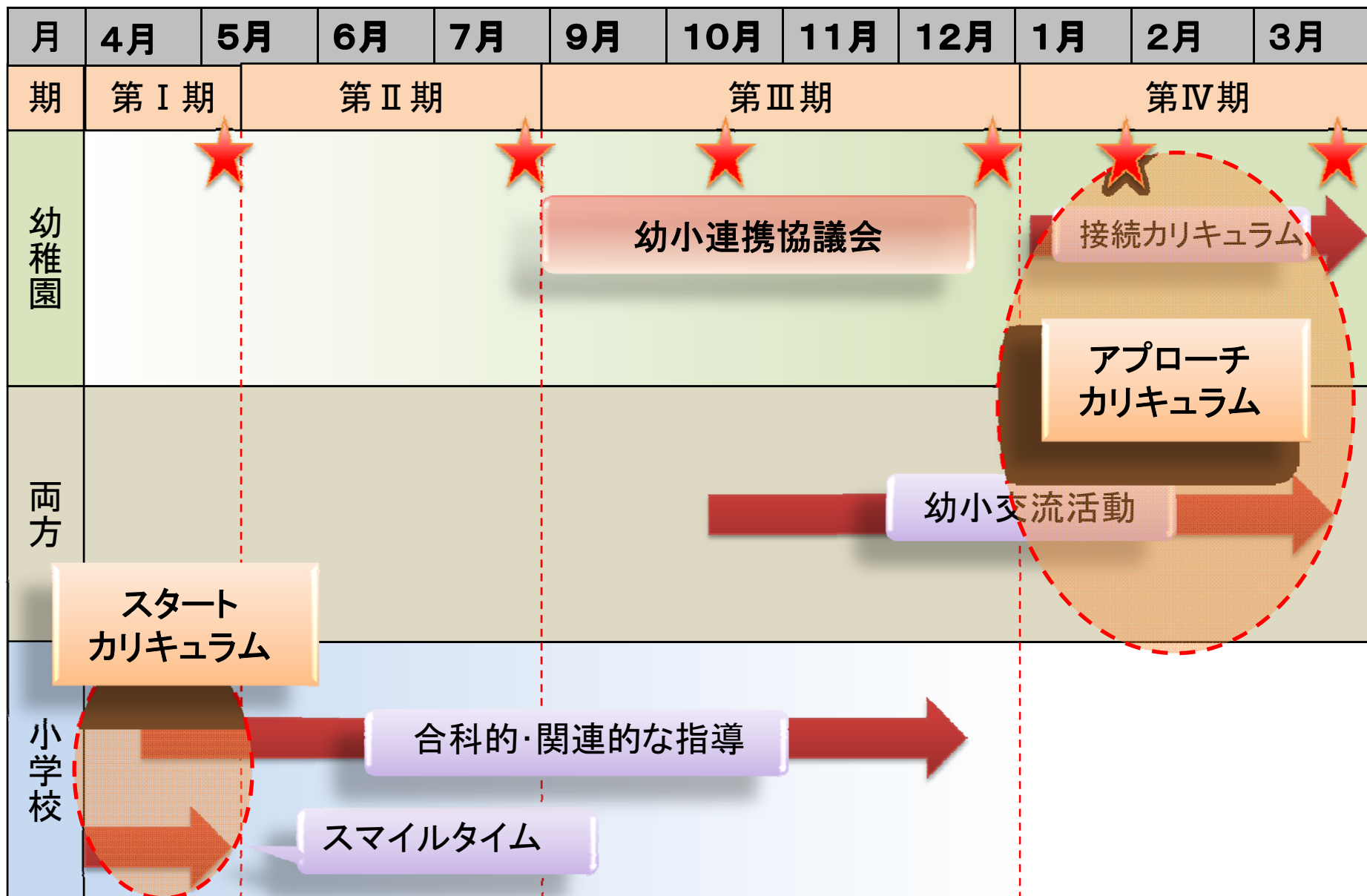
## 1 研究の概要

## 円滑な接続のための手立て

月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
期	第Ⅰ期		第Ⅱ期			第Ⅲ期				第Ⅳ期	
幼稚園											
両方											
小学校											

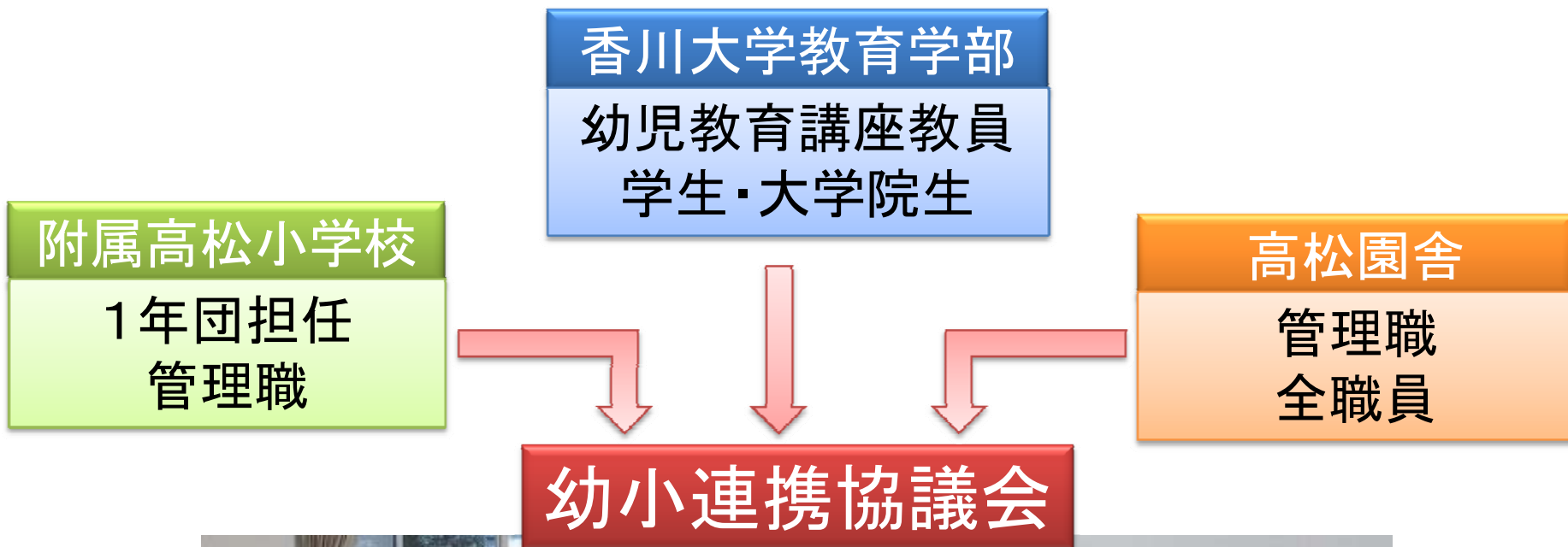
## 1 研究の概要

## 円滑な接続のための手立て



# 1 研究の概要

## 研究組織




## 第2章 実践研究

スマイルタイム  
(小学校で実施)

# 年間計画

月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
期	第Ⅰ期	第Ⅱ期			第Ⅲ期				第Ⅳ期		
幼稚園											
両方											
小学校											

スマイルタイム



# 1 スマイルタイム

・小学校って楽しいと思える『スマイルタイム』の実施

・入学直後の数週間は、子どもも教師もたいへん忙しい

トイレの指導



ロッカーの使い方



下校指導



11時過ぎの下校なので、教師は短時間で様々な指導を行う  
子どもにとっては、はじめてのことなので戸惑いがある

# 1 スマイルタイム

・小学校って楽しいと思える『スマイルタイム』の実施

最初のわくわくした気持ち



休み時間もあまりない



先生の指示も増える



友達関係も広がらない

先生の注意も増える

小学校への憧れの気持ちは下降していく

## 1 スマイルタイム

・小学校って楽しいと思える『スマイルタイム』の実施

- ・友達関係が変わることによる段差
- ・教室環境の違いによる段差
- ・時間的な段差

段差の ↓ 解消

- ・友達関係がはやくつくれるようにすること
- ・幼稚園の環境(場・時間)を小学校にもちこむ
- ・幼稚園との「のりしろ」にあたる部分をつくる

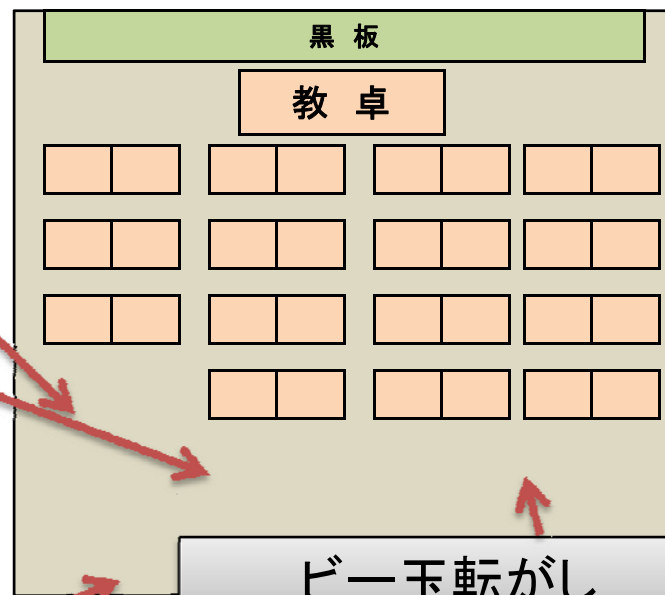
# 1 スマイルタイム

・小学校って楽しいと思える『スマイルタイム』の実施

折り紙

積み木

ドミノ



ビー玉転がし



# 1 スマイルタイム

・小学校って楽しいと思える『スマイルタイム』の実施

1年生30人学級

コミュニケーション  
スペース



選んだ遊びは友達とのかかわりを生み出す遊び。幼稚園教員に教えてもらう

# 1 スマイルタイム

・小学校って楽しいと思える『スマイルタイム』の実施

活動は、テーブルから教室へ、その後運動場へ

テーブル



折り紙

教室



ドミノ・積み木・ビー玉転がし

運動場



外遊び  
他クラスも

クラス

友達関係の広がり

## 1 スマイルタイム

- ・小学校って楽しいと思える『スマイルタイム』の実施

### 登校した子からスマイルタイムを行う

- ・楽しいことから学校生活が始まる
- ・スマイルタイムをしたいので片付けがはやくなる
- ・登校の時間差をうめられる
- ・朝の会はスマイルタイムの後。授業への切りかえの意図もある

# 1 スマイルタイム

・小学校って楽しいと思える『スマイルタイム』の実施

## スマイルタイムの時間を3段階で構成する

平成21年度カリキュラム

通常授業

スマイル

遊 び



授 業 へ

週	月	日	曜	8:15	8:35	9:20	9:30	10:15	休
				朝の活動	1校時		2校時		
第1週 (時間の区切りなし)	4	8	水	朝の会	入学式				
		9	木	朝の会	教室・学校の使い方(トイレ・靴箱・ロッカーなど)				
		10	金	朝の会	出席番号の並び方, 片付けの仕方	授業(国語)			
第2週		13	月	全校朝会	わんぱくグループ顔合わせ	朝の会, 帰りの会の仕方 新			
		14	火	朝の会	授業(すきなものの絵)	授業(参観の発表練習)			
		15	水	朝の会	授業参観(自己紹介)	粘土遊び・塗り絵			
		16	木	スマイル60分 中遊び	朝の会	身体測定			
		17	金	スマイル60分 中遊び	朝の会	視力・聴力検査			
第3週		20	月	全校朝会	スマイル 中遊び	朝の会	授業(道徳)		
		21	火	スマイル60分 中遊び	朝の会	授業(国語)			
		22	水	スマイル60分 中遊び	朝の会	授業(国語)			
		23	木	スマイル45分 中遊び	朝の会	授業(図工)	授業(図工)		
		24	金	スマイル45分 中遊び	朝の会	授業(算数)	授業(体育)		
第4週		27	月	スマイル45分 外遊び	朝の会	授業(図工)	授業(国語)		
		28	火	スマイル30分 中+外遊び	朝の会	授業(国語)	授業(音楽)		
		29	水						
		30	木	スマイル30分 中+外遊び	朝の会	授業(国語)	授業(運動会練習)		
5	1	金							

## 1 スマイルタイム

- ・小学校って楽しいと思える『スマイルタイム』の実施

### スマイルタイムの時間を3段階で構成する

- ・60分 → 45分 → 30分の3段階
- ・授業時間をだんだん延ばして通常の校時に近づけていく。
- ・幼稚園との時間的な段差を少なくする
- ・7時間程度の時数が必要  
1年生は34週計算なので実現可能

## 1 スマイルタイム

- ・小学校って楽しいと思える『スマイルタイム』の実施

### 成 果

- ・子どもたちの友達関係が自然に広がる
- ・子どもたちが「スマイルタイム」を楽しみに登校する
- ・教師の子ども理解がはやい段階から行える
- ・教師にゆとりが生まれる

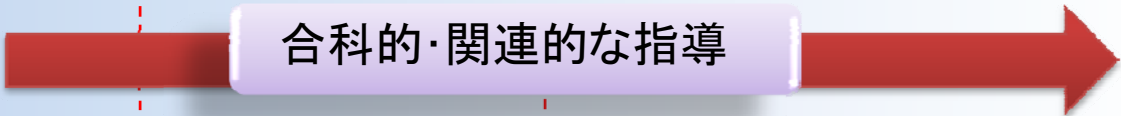
### 課 題

- ・30人学級でも、コミュニケーションスペースは手狭だった
- ・スマイルタイムは何の時間か

# 合科的・関連的な指導 (小学校で実施)



# 年間計画

月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
期	第Ⅰ期	第Ⅱ期			第Ⅲ期				第Ⅳ期		
幼稚園											
両方											
小学校											

## 2 合科的・関連的な指導

・生活科を核にした合科的・関連的な指導の実施

### 幼稚園の学び

・5つの領域を設けて遊びを中心とした総合的な活動

・子どもの様子を見ながら活動内容を決める

・到達点は同じではない

・見守り育てる



### 小学校の学び

・教科，道徳，特別活動等学問の体系に立脚する学び

・年間指導計画や単元計画に沿って授業が進められる

・同じ到達点を目指す

・教えるという側面は強い

## 2 合科的・関連的な指導

・生活科を核にした合科的・関連的な指導の実施

未分化な学び



段差

生活科

教科等に分化した学び



## 2 合科的・関連的な指導

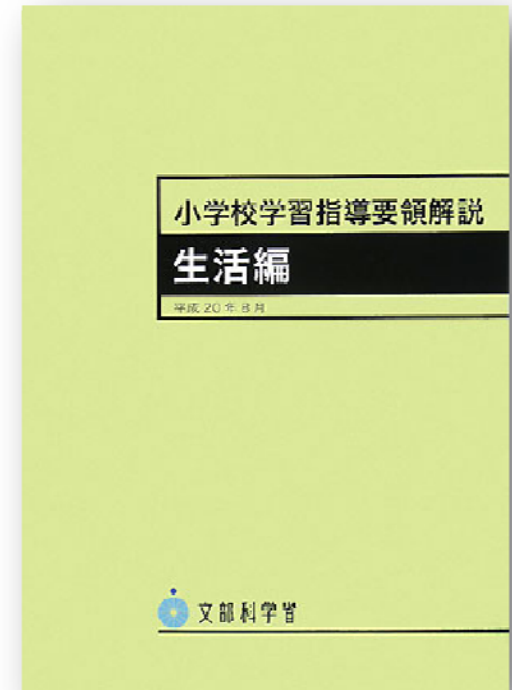
・生活科を核にした合科的・関連的な指導の実施

### 合科的な指導

合科的な指導とは、各教科のねらいをより効果的に実現するための指導方法の一つで、単元又は1コマの時間の中で、複数の教科の目標や内容を組み合わせて、学習活動を展開するものである。

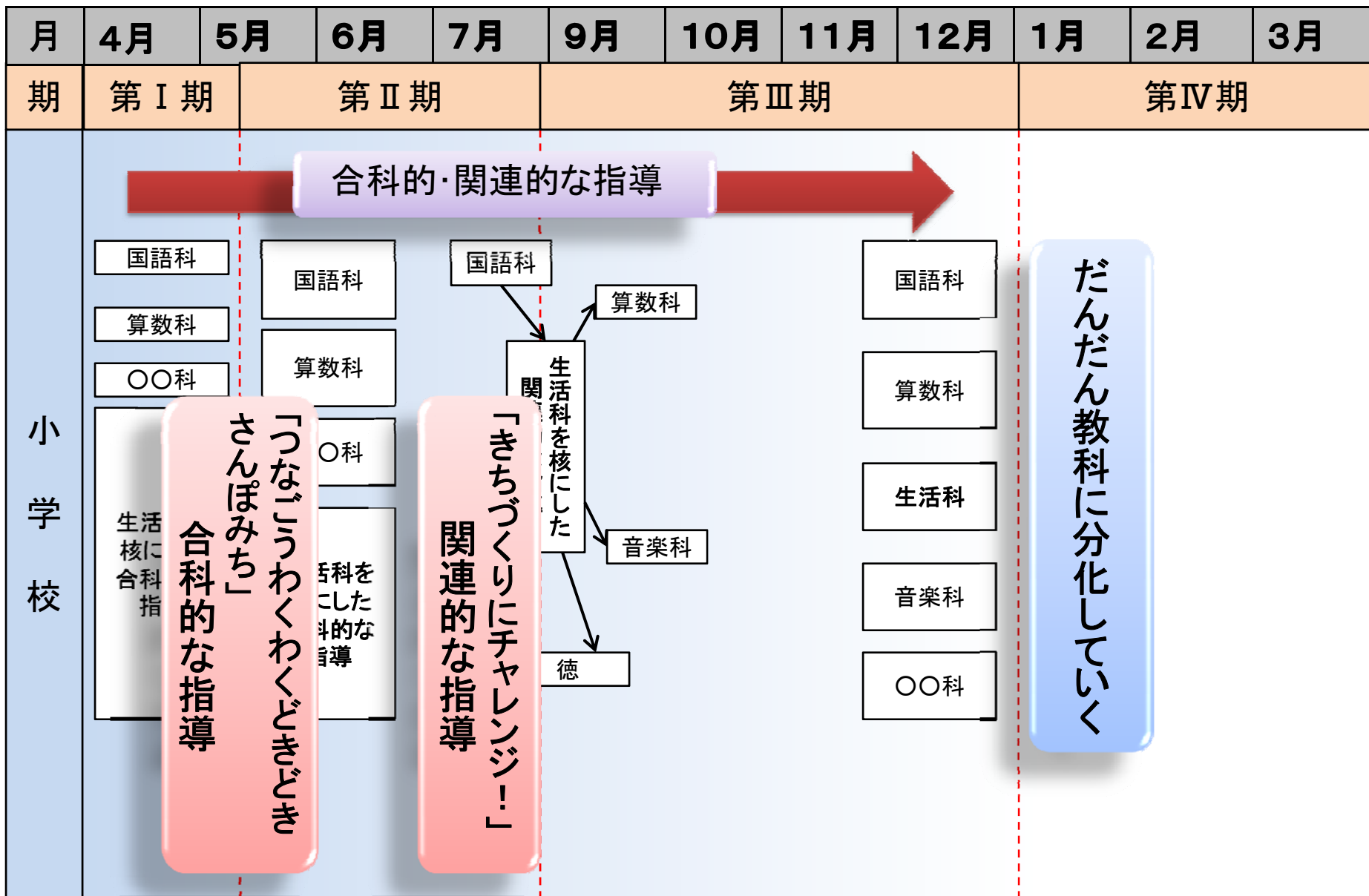
### 関連的な指導

関連的な指導とは、教科等別に指導するに当たって、各教科等の指導内容の関連を検討し、指導の時期や指導の方法などについて相互の関連を考慮して指導するものである。





# 合科的・関連的な指導のイメージ



合科的な指導 「つなごう わくわく ときどき さんぽみち」

スマイルタイム  
積み木遊び



スマイルタイム  
外遊び



学習の素地となる経験

合科的な指導 「つなごう わくわく ときどき さんぽみち」

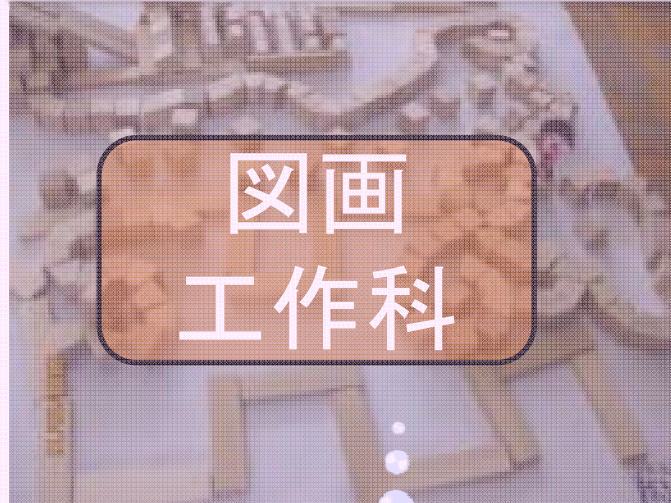
学校探検



生活科

学校にはどんなところがあるだろう

さんぽみちづくり



図画  
工作科

こんな形の「さんぽみち」はおもしろそうだな

さんぽみちでのお話



国語科

「さんぽみち」を通りながらどんなお話をしよう

各教科のねらいを単元の中で組み合わせて学習活動を展開する

関連的な指導 「きちづくりに チャレンジ！」

中心となる活動 … 生活科 「きちづくりに チャレンジ！」



秘密の部屋  
を作りたい

テーブルや椅子  
を置きたい



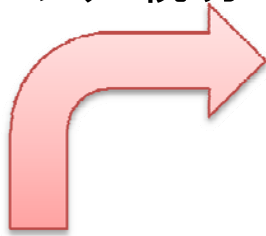
作った基地で  
泊まる

関連的な指導 「きちづくりに チャレンジ！」

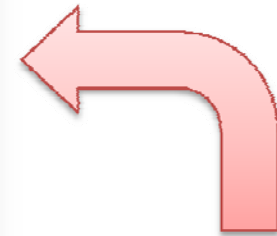
他教科等の学習を生活科に生かす

生活科 「きちづくりに チャレンジ！」

中心価値  
思いやり・親切



ものの形を認める  
特徴をとらえる



道徳「はしのうえの おおかみ」



算数「いろいろなかたち」

4

いろいろな かたち

つくりましょう。



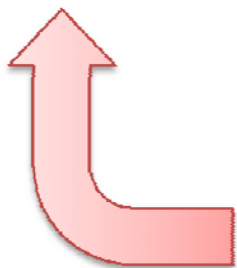
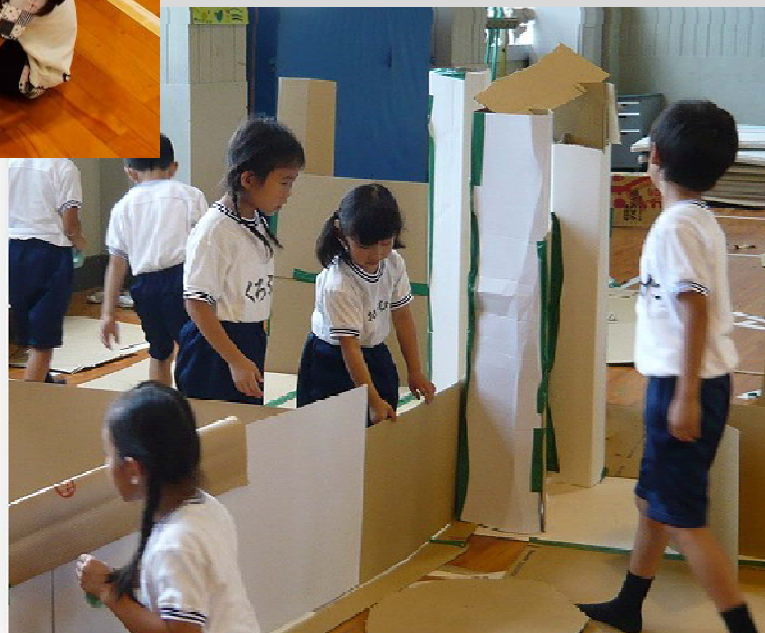
関連的な指導 「きちづくりに チャレンジ！」

生活科の学習成果を他教科等の学習に生かす

道徳「しゅくはくかつどう どうだった？」



「きちづくりに チャレンジ！」



目標が具体的な  
行為に変わる

国語「きいて きいて」



伝えたいことが十  
分蓄積される

## 合科的・関連的な指導の成果

- ① 生活科を核にし、体験を通すことで、学習に目的が生まれたり、教科で学習した内容の有用性を感じることができる

算数の時間にいろいろな形の勉強をしたよ



家の柱に



靴箱に



## 合科的・関連的な指導の成果

②合科的・関連的な指導を行うことにより、それぞれの教科のねらいもより達成しやすくなる

国語「きいて きいて」

ねらい … 楽しかったことやおもしろかったことを伝えることができる

なにを話そうかな？



体験がないと...



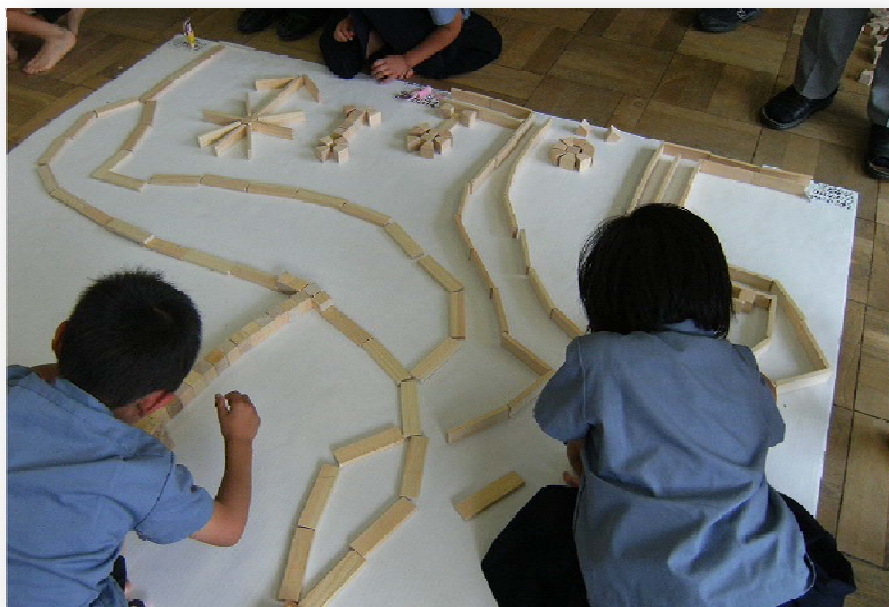
どのことにしようかな



体験していると...

## 合科的・関連的な指導の成果

### ③時間を十分に確保できる



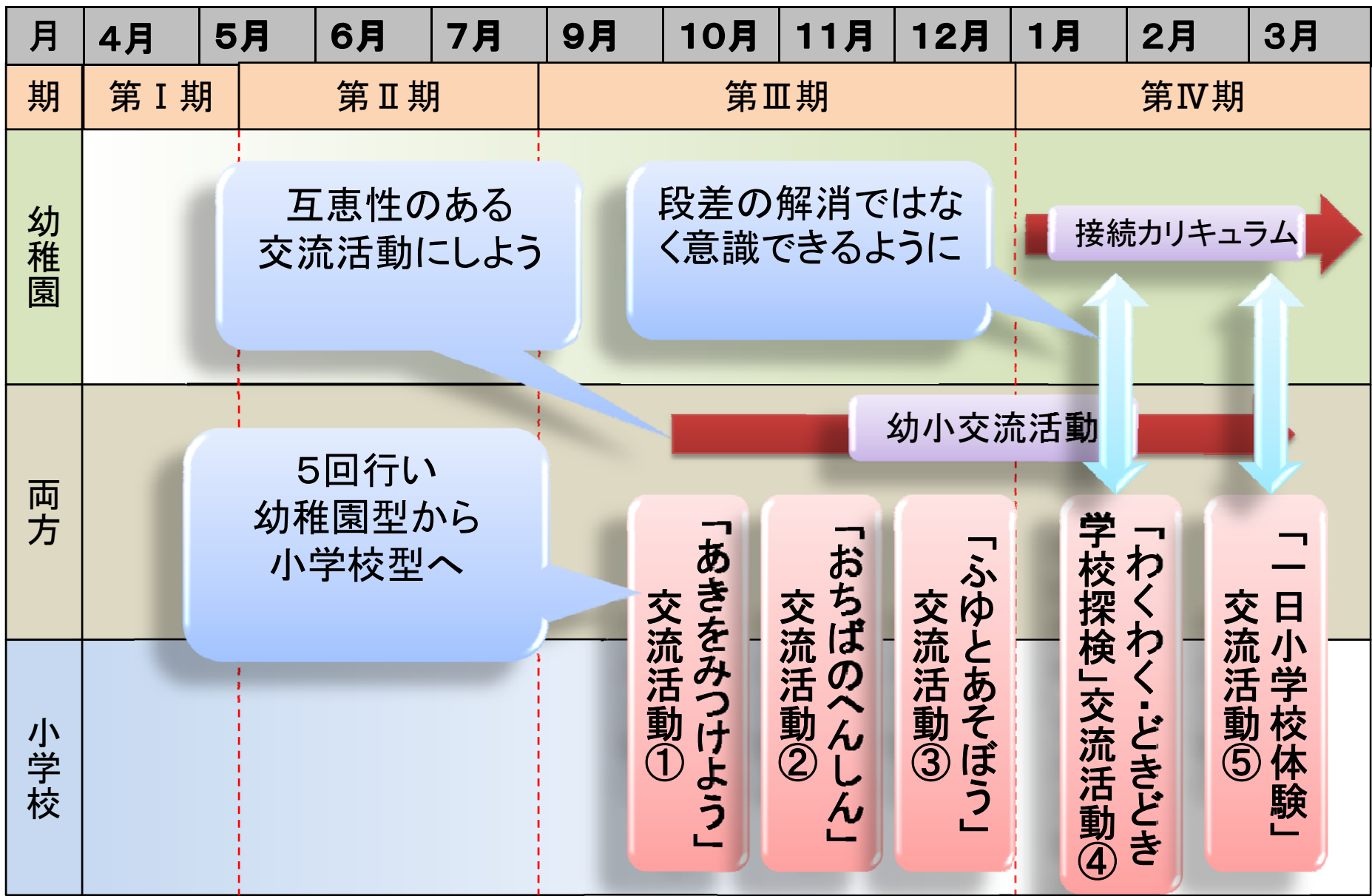
## 今後の課題

- ・今回行った実践は5月～6月の第Ⅱ期のもの  
第Ⅰ期における合科的な指導の実践例を開発する必要がある

幼小交流活動  
(両方が協力して実施)

### 3 幼小交流活動

・幼稚園，小学校の両方にとって互恵性のある幼小交流活動の実施



# 互恵性のある交流活動にしよう

## 幼児にとって

- ・小学生へのあこがれの気持ちを抱く
- ・児童の活動を手本とし、自分の活動に生かす

## 互 恵 性

## 児童にとって

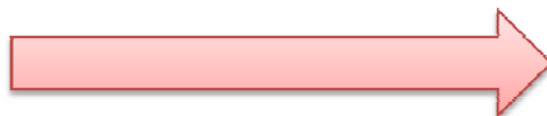
- ・年下の子をやさしく導く経験ができる
- ・1年前の自分を投影し、自身の成長を実感する

## 5回の交流活動に段階をつける

資料35P

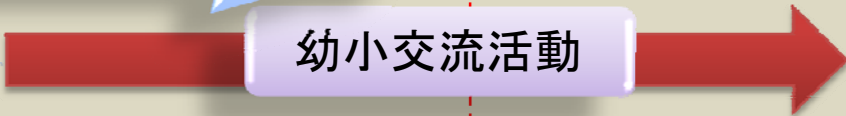
時 期	交流活動Ⅰ	交流活動Ⅱ	交流活動Ⅲ	交流活動Ⅳ	交流活動Ⅴ
活動名	「あきをみつけよう」	「おちぼのへんしん」	「ふゆとあそぼう」	「わくわく・ドキどきがっこうたんけん」	「1日小学校体験」
活動内容	公園で拾った落ち葉やドングリで、オブジェやこまを作る。	落ち葉で絵を描いたり首飾りを作ったりする。	クリスマス会のための遊びや飾り付けを一緒に考える。	学校探検で感じたことをすごろくにして遊ぶ。	小学生の生活を半日幼児が体験する。
小学校の教科	生活科	図工科	生活科	生活科	通常校時の授業
活動場所	幼稚園の様々なところ	幼稚園の様々なところ	幼稚園の室内	幼稚園の室内	小学校の教室
活動の単位	個別	ペアでの共同制作	ペアでの共同制作	グループでの共同活動	
支援の主体	幼稚園教員	幼稚園教員	幼小両方の教員	幼小両方の教員	小学校教員
活動の選択	自由にいろいろなことから選択	落ち葉に限定した活動から選択	教師が遊びや飾りを提示する	教師がすごろくを提示する	

幼稚園型の教育から



小学校型の教育へ

# 年間計画

月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
期	第Ⅰ期		第Ⅱ期			第Ⅲ期				第Ⅳ期	
幼稚園			<p>互恵性のある 交流活動にしよう</p>			<p>5回行い 幼稚園型から 小学校型へ</p>					
両方						<p>幼小交流活動</p> 					
小学校						<p>「あきをみつけよう」 交流活動①</p>		<p>「おちばのへんしん」 交流活動②</p>	<p>「ふゆとあそぼう」 交流活動③</p>		

# 交流活動Ⅰ 「あきをみつけよう」生活科

資料39～41P

活動場所→幼稚園，活動の単位→個別，支援の主体→幼稚園教員



公園へ秋を見付けに行く



ドングリごま



秋のオブジェ



秋の写真立て

# 交流活動Ⅱ 「おちばのへんしん」図工科

資料42・43P

活動場所→幼稚園，活動の単位→**ペアで共同制作**，支援の主体→幼稚園教員



落ち葉を探しに行く



公園で遊ぶ



ペアで共同制作



完成

# 交流活動Ⅲ 「ふゆとあそぼう」生活科

資料44～46P

活動場所→幼稚園，活動の単位→ペアで共同制作，支援の主体→**幼小両方**



町探検で冬みつけ



遊びや飾りの相談



クリスマスパーティ



遊びや飾りの改良

### 3 幼小交流活動

資料37. 38P

#### 実践から見えてきたこと

- ・交流活動はどんな活動をするかに大きく左右される

熱中するあまり交流  
がおこりにくい

意図的に環境を  
設定しているの  
で交流がおこる

遊びを通して自然  
に交流がおこる

- ・どんな活動が交流に適しているかは資料37, 38に掲載

#### 成 果

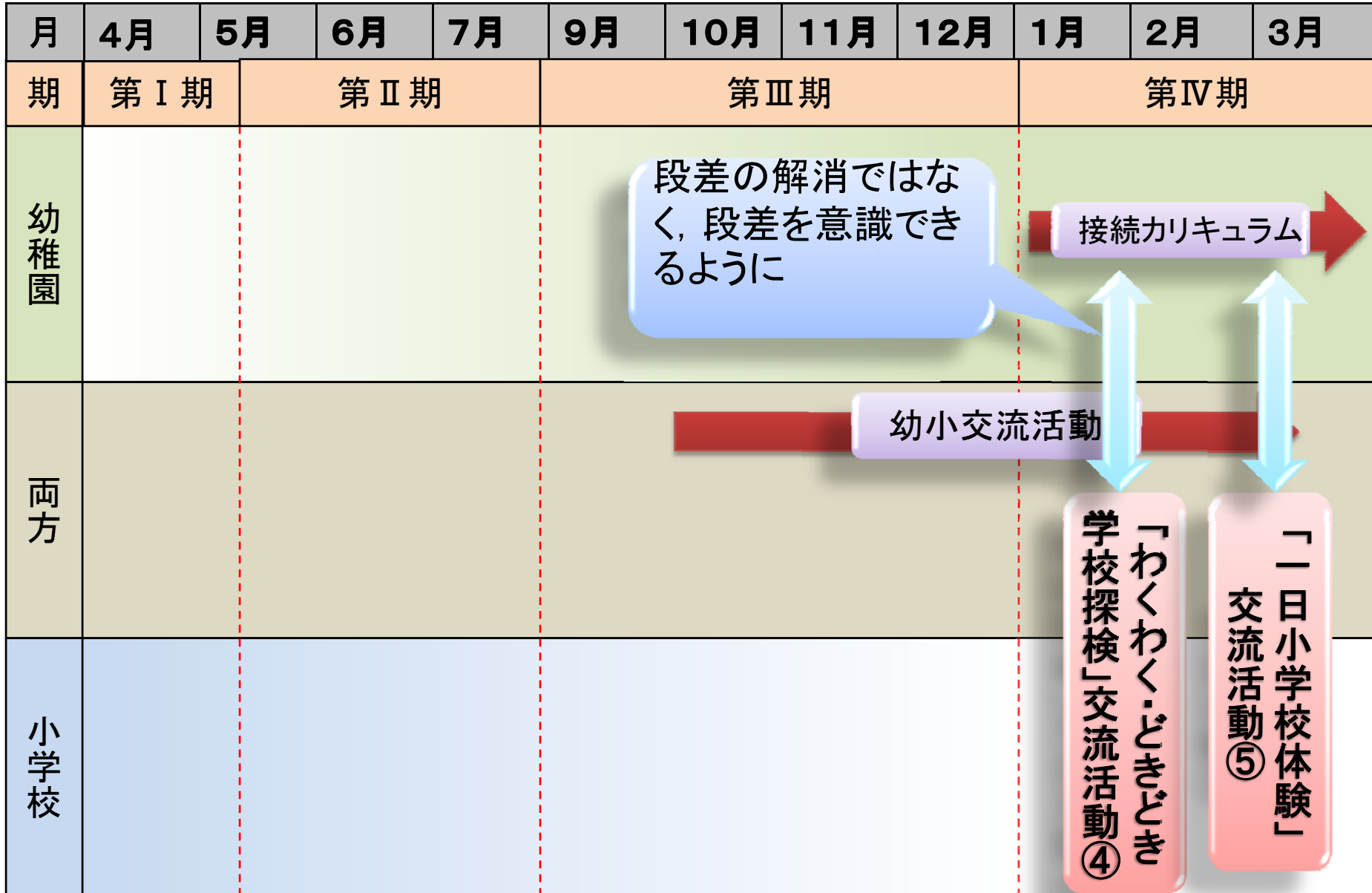
- ・交流活動は、交流を行っている時間以外の時間も充実する
- ・1年生と年長との交流では、お互いに学び合う関係になる
- ・幼稚園、小学校教師で支援の仕方に差異がある  
(そこを話し合うことができた)

#### 課 題

- ・3人のグループ編成は難しい

接続カリキュラム  
(幼稚園で実施)

## 4 接続カリキュラム



# 4 接続カリキュラム

資料48・49P

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月
行事	・栗林公園へ行く	・幼小合同うめフェスタ	・落ち葉たき ・お楽しみ会 ・もちつき大会 (生活発表会)	・附属小学校入学検査	・幼小合同研究発表会 ・ダイコンの収穫・おでん作り	・附属小学校入学周知会 ・お別れ会 ・修了式	行事
発達 の姿	仲間と共通の目的を持って何日も続けて遊ぶようになる			お互いを認め合い、集団の一員として役割を喜んで果たすようになる			発達 の姿
活動例	生活	<p>&lt; グループで当番活動をする &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保育者の援助がなくても自分たちで当番の仕事をすすめていく</li> </ul>	○ 4歳児の人に当番の仕事の仕方を伝える	生活			
		<p>&lt; 時計を意識しながら生活する &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 片付けの時間を時計の模型で掲示</li> </ul>	○ 時計を見ながらお弁当を30分以内に食べる				
活動例	遊び	<p>&lt; 自分の身の回りのことは自分でする &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 着替えを時間内にしたり脱いだ服をたたんだりする</li> <li>○ 自分の引き出しの整理を自分から気付いてする</li> </ul>				遊び	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ クラスで集まってする活動を増やす (ゲーム・話し合い・輪唱・絵を描く 等)</li> <li>○ クラスの仲間と協同して遊ぶ (おぼけやしきごっこ・遊園地ごっこ・共同製作・おでん作り 等)</li> </ul>					
		<p>秋の自然物で遊ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1年生と一緒に秋の自然物を探しに栗林公園に行く</li> <li>○ 自然物を使って製作活動をする</li> </ul>	<p>風と遊ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1年生が作ったものを見ながら、おもちゃを作る</li> <li>○ 園児と1年生が、作ったおもちゃを交換して遊ぶ</li> </ul>	<p>学校探検</p> <p>1回目・何カ所か決めてグループで校内を探検</p> <p>2回目・もう一度行きたい場所をゆっくり探検</p>	<p>学校すぐろく</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活のルールや学習について1年生が書いたカードを使って一緒にすぐろくを構成して楽しむ</li> </ul>	<p>1年生一日体験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習や給食・休み時間・掃除の時間を実際に体験する</li> </ul>	
活動例		秋の自然物で遊ぶ (2回)	風と遊ぶ	学校探検 (2回)	学校すぐろく (3回)	1年生一日体験	活動例
幼小 交流活動	ねらい	1年生に親しみを持つ	1年生と一緒に遊ぶことを喜ぶ	小学校に憧れや期待感をもつ			ねらい
	援助の ポイント	○ 地域での就学時健康診断を終え、就学に対して気持ちが向き始める。この時期に、園外保育などを通して、開放感の中で1年生とペアで行動することで、1年生に親しみをもつようにする。名前の共通点などでペアを作り、できるだけ覚えやすいように配慮する。	○ 様々な活動を通して、1年生に憧れの気持ちを抱いたり、年長者としての振る舞い方に気付いたりして、1年生と一緒に遊ぶと楽しいと感じる。活動の内容構成などを工夫していく。 ○ 1年生に対して、自分の気持ちを伝えていけるように、一人一人の様子に応じて援助していく。	○ 附属小学校入学検査で実際にいろいろな場所に行くことをきっかけに、小学校の生活に憧れるようになる。学校探検を通して、学校の施設を実際に見たり使ったりして、小学校の生活にイメージをもてるようにしていく。 ○ 一日体験入学で、小学校の先生による授業を受けたり、1年生と給食を食べたり、他学年の小学生たちと掃除をしたりすることで、具体的に小学校生活を知り、これからの小学校生活への不安を取り除くようにする。			援助の ポイント

## 4 接続カリキュラム

- ・小一プロブレムの問題は段差があるから起こるという面以外に、段差に対する心構えがないからおこっているという側面がある



段差を意識させることで、心構えがもてるようにしよう

- ・交流活動Ⅳ  
「どきどき わくわくがっこうたんけん」
- ・交流活動Ⅴ  
「1日小学校体験」



# 交流活動Ⅳ 「わくわく・ドキドキ がっこうたんけん」生活科

活動場所→幼稚園，活動の単位→**グループで共同活動**，支援の主体→幼小両方



学校探検に行く



学校探検すごろくを作る



すごろくで小学校のことを体験



交流しながらコースを変更

# 交流活動Ⅴ 「1日小学校体験」

資料50～53P



机での勉強



生活科の授業

給食の配膳



給食の片付け



掃除の時間



休み時間

### アプローチカリキュラムの成果と課題

#### 成 果

- ・小学校に入るのが楽しみになる(幼児)
- ・自分の思いを言葉で伝える力が育つ(幼児)
- ・学級とはちがう一面を見ることができる(幼児・児童)

#### 課 題

- ・小学校の時間割に合わせて1日体験をするのではなく、さまざまな体験を少しずつ行うのがよい